



裏磐梯だより

No. 86

2017年9月



▲初秋の瑠璃沼

裏磐梯の過ごしやすい夏があつという間に過ぎ、すっかり秋風の薫る季節になってきました。^{はぎ すずき}萩や芒などの秋の七草にも数えられる植物が草むらに茂り、趣のある鳴く虫の音が響いています。

写真は^{るり}瑠璃沼ですが、その名に冠する「瑠璃」は、仏教の七宝の一つとされる青色の宝石を指し、この宝石の色にちなんだ「瑠璃色」は、高貴な青色の形容として古くから用いられてきました。瑠璃沼は、そのように神々しくも感じられる沼の深い青色に加え、まわりの森の緑色や空の色が映り込み、実に複雑な色彩を織りなしています。この沼の景色は、自然にしか成しえない美しさというものがあることを、改めて教えてくれます。

これからの季節には、さらに紅葉の赤や黄色が彩りを添え、一年で最も色彩豊かな景色となります。まさに、芸術の秋の到来です。この秋はぜひ、五色沼湖沼群の自然の絵画で目を肥やしてみたいですか？